

雇用助成金 手続き学ぶ

東濃信金など説明会 陶磁器事業者が参加

雇用調整助成金の申請方法を学ぶ参加者
多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘
エール



県陶磁器工業協同組合連
合会と東濃信用金庫は27
日、新型コロナウイルスの
影響を受ける陶磁器関係の
事業所を対象に、支援制度
の説明会を多治見市虎溪山
町のとうしん学びの丘エー
ルで開き、約40人が雇用調
整助成金や緊急特別融資の
制度や手続きを学んだ。

特定社会保険労務士の本
庄恵子さんと、同金庫営業
統括部の木股秀輔さんが講
師を務めた。

本庄さんは新型コロナウ
イルスの感染拡大で業績が
悪化し、労働者を休ませた
事業所に支給する雇用調整

助成金の手続きや申請の注
意点を厚生労働省のホーム
ページにある申請書を見せ
ながら説明。手続きが簡素

化されたものの、それが審
査に時間を要し、支給が遅
れる一因になっているとし
て、「計画届や休業協定書
といった書類を最初からそ
ろえて提出した方が審査が
スムーズになる」と助言し
た。

(野中準二)